



桃介橋のくぎを打ち直す奉仕活動に取り組む生徒たち

くぎ打ち直し 桃介橋を補修

生徒が奉仕活動

蘇南高

南木曾町の蘇南高校（小川幸司校長、

148人）はこのほど、全校生徒が参加するボランティア活動を地域の各地で行った。生徒会を中心に昨年から始まった取り組みで、文化施設や道路の清掃など環境整備に励んだ。

2年生は学校近くの天白公園での落ち葉拾いや、周辺地区でカーブミラー清掃などをした。桃介橋では板から浮いたくぎを金づちで打ち直し、生徒たちは約250分、腰をかがめて丁寧に作業をした。

木村日向詩さん（16）は「橋は文化財なので傷つけないように気をつけた。これからも大事にしていきたい」と話していた。妻籠宿や田立の老人ホーム、学校と交流がある吾妻の牧場などでも活動した。（大嵩崎慧）